

# 連盟ニュース

NO. 87

9 - 1 9 5 9

写真による

## 世界の建築と美術の総合展

八月二十五日から三十日まで、日本橋高島屋八階ギャラリーで国際造形芸術連盟（IAPA）日本委員会主催、日本美術家連盟、日本建築家協会および毎日新聞社の後援によって開いた。

参加十三カ国、出品はそれぞれ二〇ないし三〇枚で合計三〇二枚、各国別とし、左の順序で陳列した。

ユーゴスラヴィア、イタリア、ブラジル、アメリカ、イギリス、オーストラリア、オランダ、スウェーデン、ノルウェー、スイス、フランス、ベルギー、日本

この展覧会は、一九五七年九月ユーゴスラヴィアのドブプロニックで国際造形芸術連盟（IAPA）第二回総会を開くに際し、IAPA本部とユーゴ

国内委員会との共同主催により計画したもので、各加盟国の国内委員会に呼びかけて出品を求め、最近十年間の建築と美術との協力を示す実例の写真二〇ないし三〇枚づゝ集めることとし、当時日本委員会も小委員会を設けて作品を選び写真を作製して参加したものである。ユーゴでの展覧を終つてのち、昨年チリに送られ同国で展覧されたが、このほど日本で開くことにしたわけである。

展覧会としては写真のサイズが小さくて魅力が乏しく専門家以外一般の観衆にはあまり興味をもたれないであろうと当初予想したが、これはまったく誤りで、実際には、会場は毎日熱心な多数の観客で賑わい、美術家建築家、学生などはもちろん、一般の人々にも多大の関心と興味をひき起こしたことは意外なほどであり、まことによろこばしいことであつた。投書函において感想を求めたが、その数四十六通に達し、多く好評であつたことも、開催の意味が空しくなかつたことをかたっている。

この展覧会の開催に当つては後援者として日本建築家協会と毎日新聞社の厚意ある援助を受け、また会場を提供された高島屋の格別な配慮を煩わしたことを記して感謝する。また準備その他について小委員会を設け、連盟委員以外に建築評論家森田茂介、浜口隆一、神代雄一郎諸氏の援助を仰いだ。ことに森田氏には会場構成、展示につき一方ならぬ助力を願つたことを感謝する。

投書の一部を紹介すれば、「大変興味あるてらん会でしたが、あまり写真が小さすぎて迫力がなく、見にくいと思ひました。カラーにする事も必要だと思ひました。」

「良きころみ。但し資料もう少し完備を!!」

「食事もおもしろいし、このよう建築も美しくなる時、このよう催は楽しい。」（太田区永田）

「裝飾空間がスペースの大部を占めている様でなにかおしつけられてる様な感じのする所もありです。これは建物全体から判断すべきでしょうが、まだまだ研究の余地があると感じました。」（横山）

「天然色の写真を多くしてもらいたかつた。」

「もっと美しいものを展示してほしい。中には一、二良いものもあるが、皆デコデコしたあま

写真展会場の一部



## ウィーンのたより

阿部展也

（八月三日発）

ウィーンにおります。今日までにクラウス・バック氏とグリースマイヤー氏（Österreichisches Museum für angewandte Kunst 館長）と来年のIAPA総会の展覧会打合せをし、日本から用意する写真類について具体的なとりきめをいたしました。パリでラルデラと話の折、ウィーンに寄つて、打合せもらえらると万幸好つごうとのことであつてきたものです。バック氏はIAPAオーストリア国内委員会の事務総長です。

日本の版画は、鳥居派から写楽、広重など末期のものまで三千〜四千枚あり、その点版画については心配ありませんが、他の部分何もなく日本の協力を望んでおります。とくに書と琳派、あしで絵、建築写真等、この件帰つてくわしく報告します。ウィーン大体英語が通じ、とくに若い人たち、知識人はほとんど話します。（中略）明日フランクフルトに向います。

## 阿部展也氏帰国

本年二月ニューデリーのアジア美術家会議、および四月パリのIAPA執行委員会に出席、その後欧州にあつて来年のIAPA総会準備その他に活動中だったが、八月二十三日羽田着で帰国した。

## 講演と映写の会

日時 九月二十五日（金）午後一時半—四時半

場所 中央区京橋一ノ一 プリチストン美術館講堂

講師 阿部展也氏

演題 a インドの古代彫刻

b 欧米の新しい絵画の動向

映写 カラーライドと8ミリフィルム（同氏撮影）

連盟理事でIAPA執行委員の阿部さんは、アジア、欧米の諸国にたびたび重要な任務で使つたから、美術家の目とプロカメラマンの腕でたくさんスライドやフィルムを作つておられます。最近インドから歐洲諸国半歳余りの旅から帰られた機会に、その一部をみせて頂くことにしました。会員の皆様どうぞご来会下さい。



### 建築と美術写真展

#### 準備委員会

前回の協議にもとづき、陳列計画等展覧会の具体的な準備を進めるため、八月七日午後五時半から四谷一丁目の連盟事務所準備委員中の小委員会を開いた。

〔出席〕森田、大沢、向井(良)村井各委員、神代雄一郎氏、事務局和田、木下、倉田、野間会場構成、陳列順序と壁面色彩計画等について相談し、また陳列効果のため引伸す写真を選定した。

### 第19回理事会

総会後最初の理事会として八月十二日午後五時半から東京駅地下レストランとうきょううで開いた。

〔出席〕大河内、田中、平塚、宮本、望月、山本(委任状六

### 美術家会館建設

#### 寄附作品受領報告(その五)

建設展終了後、今日までに、左の方々から作品のご寄贈を頂きました。ここに報告して深甚の謝意を表します。なお現在までの寄附受領累計は、日本画三一六、洋画八一四、版画一一三、彫刻一三三、総計一三七六点となりました。

#### 日本画

#### 洋画

- |       |           |       |       |       |
|-------|-----------|-------|-------|-------|
| 浦田 正夫 | 盛秋(大平峠)尺八 | 長谷川路可 | 婦人像   | フレスコ  |
| 奥村 土牛 | 花         | 榎山 七重 | 作品 I  | 50×91 |
| 川本 末雄 | 池の見える     | 二尺    | 作品 II | 〃     |
| 高原    |           |       |       |       |

(名)各理事、大久保、村井各監事、事務局和田、木下、倉田、西原  
宮本理事長を議長として左のとおり議事を行った。

#### ◇報告事項

- 1 通常総会の経過、出席数、議決事項等について。
- 2 前田青邨氏名誉会員推薦は正式書面を事務局長持参しあいさつをしたこと。
- 3 「写真による世界の建築と美術の総合展」の計画と準備につき準備委員会で相談した事項、および開催予定について。
- 4 第二二回国際美術協議会の経過(別項参照)。
- 5 建設展に作品が間に合わなかった諸氏にかさねて依頼状を出したこと、その返事および最近の受領作品について。
- 6 ニュース八月号および特約店等一覧表刊行予定について。
- 7 在米猪熊氏および在ウィーン阿部氏からの通信。
- 8 著作権協議会宛質問書を発

したが、以後一カ月近く返信のないこと。

#### ◇協議事項

- 1 入会申込者承認の件  
七名の入会を承認した。
- 2 会館設計案と美術家協力の件  
七月以来建築委員会と協議し設計者と相談した経過を報告のうえ、最近一部分を改められた図面、透視図などにつき意見を交換したが、この問題はさらに建築委員会を開いて十分検討することとし、その開催の時期参加メンバーなどについて協議した。
- 3 リトグラフ計画の件  
会館建設資金のための事業としてかねて計画したリトグラフ制作の具体案について協議し、依頼する作家日本画七名、洋画一〇名を決定、制作および頒布の諸条件をきめ、書面を作って作家に依頼することとした。
- 4 委員および未出品作家による展覧会の件  
資金計画の一として、かねて委員は作品二点づつ寄贈の申し合せをしているので、のこりの一点を寄贈し、建設展に未出品であった諸氏の作品とともに特別展覧会を開く案について相談した。開催の時期、場所、その他については種々問題がある中で、なお研究をすすめることとした。

### 第4回建築委員会

設計の基本案と美術家協力の問題を協議するため、八月二十三日午後五時半から東京駅地下

### 連盟会員証による展覧会 無料入場について

◇各美術団体のご好意により連盟会員証で左記展覧会に無料入場できます。秋のシーズンとなりましたので、念のため、会員各位にお知らせいたします。

- |          |        |          |
|----------|--------|----------|
| 一線美術会    | 一水会    | 一陽会      |
| 旺玄会      | 九室会    | 光風会      |
| 行動美術協会   | 国画会    | 示現会      |
| 春陽会      | 新構造社   | 新象作家協会   |
| 新世紀美術協会  | 新制作協会  | 自由美術家協会  |
| 女流画家協会   | 水彩連盟   | 創元会      |
| 太平洋画会    | 大潮会    | 東光会      |
| 独立美術協会   | 二科会    | 二紀会      |
| 社団法人日展   | 日本画院   | 日本水彩画会   |
| 日本木彫会    | 日本版画協会 | 日本美術院    |
| 日本彫塑家クラブ | 日本美術会  | 白日会      |
| 美術文化協会   | 汎美術家協会 | モダンアート協会 |
- ◇なお、国立近代美術館、鎌倉近代美術館及びブリヂストン美術館は半額入場の特典をあたえられています。
- ご注意  
一、右団体展の入場には自筆署名した会員証を受付に示し、各会備付の帳面に記入して下さい。  
一、会員証の使用は記名本人に限られていますからくれぐれご注意下さい。

#### 連盟御指定

### 秋元屋旅館

秋の磐梯高原にぜひお遊び  
ください

— 磐越西線猪苗代駅下車 —

#### 洋画材料・仮縁

#### 連盟特約店

会員みなさまの  
御利用をどうぞ!

### 浦崎画材店

上野公園都美術館内  
TEL(82)3726

#### 連盟特約画廊

### ギンザ 教文館画廊

銀座四丁目・TEL(56)8446

… 予約受付 …



### 美交社画廊

国立近代美術館前  
東京都中央区京橋二 電 1258  
(都電・バス停・地下鉄口)

大阪・東区南久太郎四(御堂筋)電 3624  
名古屋・中区栄町四広小路通安藤ビル電 3625 6984 4430



いては、大体賛成することに一致した。細部の石材の材質や色彩の問題、また美術家が協力するばあいの基本的な考え方、建築家と協議する問題などについて話し合ったが、抽象的な論議ではいつまでも進捗しないので、美術家側としての具体案を準備すること、そのためには参考として、近日開かれる建築と美術の総合写真展をなるべく一緒にみて協議する方針とした。

### 国際美術協議会

#### 第22回会議

八月六日午後三時半から上野国立西洋美術館で開いた。出席者富永、嘉門、田内、田中、益田、和田、米沢各委員、外務省前田、野村、齋藤諸氏。

新委員委嘱の件 従来の委員任期満了のため改選にあたり、前回の申し合せにより美術家連盟から五名(宮本三郎、和田新、田中忠雄、益田義信、柳原義達)、

### 病氣見舞

内規により左記の通り見舞金を贈呈しました。

### 弔慰

今中 素友氏  
八月一日病氣のため永眠  
川崎 信二氏  
八月十一日病氣のため永眠  
以上謹んで弔意を表し、弔慰金を贈呈しました。

評論家連盟から三名(嘉門安雄、滝口修造、土方定一)がそれぞれ選出された旨を米沢主務幹事から報告し、富永委員長からこれら諸氏に今期(三十六年八月初まで)委員就任をお願いした。

委員長選出の件 委員長については富永氏かねて交代の希望を表していたが、互選の結果も一期再任のことに決定した。

中南米巡回日本現代絵画展 作品の選考については日時の関係で出品作家の自選に任せたとの報告を承認した。予定は九月十九日までに国立博物館に搬入、目下関係者に内示の上、十月初旬発送することとした。

### 賛助会費受領報告

昨年九月以降左の通り賛助会費を受領いたしましたので、ご報告とともに感謝の意を表します。なお紙面の都合でご報告が遅れましたことをお詫びいたします。

- 九月 月
  - 大下 正男氏(美術出版社) 一〇、〇〇〇円
  - ムーア・桂子氏(平塚ギャラリー) 三、六六三元
  - 十月 月
    - 高橋 伝三氏 九〇〇円(一口)
    - 佐藤 清氏 九〇〇円(三口)
    - 大下 正男氏(美術出版社) 一〇、〇〇〇円
    - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円
    - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円

- 十一月 月
  - 大下 正男氏(美術出版社) 一〇、〇〇〇円
  - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
  - 日下部松助氏(クサカベ油絵具) 一八、〇〇〇円(十口)
  - 佐藤 清氏 九〇〇円(三口)
  - 十二月 月
    - 佐藤 清氏 一、八〇〇円(三口)
    - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
    - 大下 正男氏(美術出版社) 二〇、〇〇〇円
    - 小塩 孫八氏(安倍川工業) 三、六〇〇円(一口)
    - 高橋 伝三氏 六〇〇円(一口)
    - 一月 月 (三十四年)
      - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
      - 大下 正男氏(美術出版社) 二〇、〇〇〇円
      - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
      - 佐藤 清氏 三、六〇〇円(一口)
      - 二月 月
        - 大下 正男氏(美術出版社) 二〇、〇〇〇円
        - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
        - 佐藤 清氏 三、六〇〇円(一口)
        - 三月 月
          - 佐藤 清氏 九〇〇円(三口)
          - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
          - 大下 正男氏(美術出版社) 三、〇〇〇円(十口)

### 近着寄贈図書・雑誌

左記の図書、雑誌をご寄贈いただきました。ご報告とともに感謝の意を表します。

#### 図書

- 「現代建築と芸術」神代雄一郎著・彰国社刊 神代雄一郎氏
- 「世界大百科辞典・索引」平凡社 雑誌
- 「建築界」八月号 生野雅三氏
- 「みづゑ」九月号—写真による世界の建築と美術の総合特集 美術出版社

- 二月 月
  - 尾向 三治氏 九〇〇円(一口)
  - 佐藤 清氏 九〇〇円(一口)
  - 四月 月
    - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
    - 大下 正男氏(美術出版社) 二〇、〇〇〇円
    - 大谷竹次郎氏(松竹) 三、六〇〇円(一口)
    - 黒川 秋三氏(ハマ画房) 一、八〇〇円(一口)
    - 佐藤 清氏 九〇〇円(三口)
    - 上田賀代子氏(上松絵具店) 一、八〇〇円(三口)
    - 五月 月
      - 大下 正男氏(美術出版社) 一〇、〇〇〇円
      - 佐武 林蔵氏(サクラ商会) 三、〇〇〇円(十口)
      - 日下部松助氏(クサカベ油絵具) 一八、〇〇〇円(十口)
      - 佐藤 清氏

美 KAWABATA

展覧会場設備  
美術品荷造運送

川端商会

展省館館社会  
立博物術開覽  
部美新展  
日文科都各各

上野公園都美術館内  
直通 (82) 4027  
T 内線 (82) 3726

連盟購買部御指定品  
最高級木炭紙「アトリエ」

今回「アトリエ」使用による懸賞募集を発表致しました。締切は本年10月31日、審査員には、宮本三郎先生他著名先生多数。詳細については連盟事務所へお問合せ下さるか又はポスターか、「美術手帖」「みづゑ」「アトリエ」7、8、9月号をご覧下さい。

製造元 安倍川工業株式会社  
発売元 株式会社 国進洋行  
東京本社 電(83)1494・6818・6667  
名古屋支店 電(54)5824 (55)5021  
大阪営業所 電(94)6876-8

文房堂製の油絵具

文房堂画廊  
皆様の御利用を  
お待ちしております

文房堂  
東京・神田・スルガ台下

専門家のための  
さくら  
油絵具  
水彩絵具

さくらクレパス

東京 大阪

holbein

ホルベイン  
油絵具

純質・専門家用

ムーン  
油絵具

日本油絵具株式会社



六月	九〇〇円(三口)	佐武 林蔵氏(サクラ商会)
六月	三、〇〇〇円	大下 正男氏(美術出版社)
六月	三、〇〇〇円(一口)	尾向 三治氏
六月	三、〇〇〇円(十口)	九〇〇円(一口)
六月	三、〇〇〇円	佐藤 清氏
六月	一〇、〇〇〇円	九〇〇円
六月	一、八〇〇円(一口)	
六月	九〇〇円(三口)	
七月		渡辺 利道氏 ローマ国立美術学校イタリア政府招待給費留

### 集録

### 正会員入会者

一六八三	岩崎 巴人(日)
一六八四	吉田 芳夫(彫)
一六八五	樋口 一郎(洋)
一六八六	寺中 靖直(洋)
一六八七	秋元 松子(洋)
一六八八	辻 好子(洋)
一六八九	萩 駿(洋)
一六九〇	島内 きみ(洋)
一六九一	青木 寿(洋)
一六九二	浦上 正則(洋)
一六九三	高宮 一栄(洋)
一六九四	羽山 登(洋)
一六九五	伊藤 徳衛(洋)
一六九六	張替 正次(洋)
一六九七	飯島 庸行(洋)
一六九八	増田 誠(洋)

学生として二年間の予定で空路九月二十日出発。

河合 敏雄氏 九月十八日、アメリカ経由ヨーロッパへ。

井上 覚造氏 九月二日アメリカ向出発。十月よりパリ滞在約半年外遊の予定。

村尾 隆栄氏 このほど渡米した。宛先は左の通り。

改井 貞子氏 このほど栗田と改姓。

住 所 変 更(敬称略)

田辺 莊掬

佐藤 太清

掛井 五郎

久保寺 恭

樋笠 数慶

西沢 富義

網谷 義郎

宮尾しげを

伊藤 利彦

行木 正義

宮下登喜雄 (帰国)

榎山 七重

長谷川路可

電話新設及変更(正会員)

伊藤 清永

塩崎 逸陵

榎倉 省吾

梶田 英一

高木春太郎

服部 保

平山恵多路

松田 忠一

宮脇 憲三

山田 史郎

吉田 隆

畦地梅太郎

高田 一夫

佐藤 清

佐藤吉太郎

誤 ページ 正

上田精一(19) 上田清一

上原重加(20) 上原重和

誤 正

豊福知徳 一四三六 一四六三

田村 満 三二五 一三六七

### 新版会員名簿の訂正

新会員名簿に左記の誤りがありましたのでお詫びかたがた訂正します。(記事中公称略)

▽氏名訂正

誤 ページ 正

上田精一(19) 上田清一

上原重加(20) 上原重和

誤 正

▽住所訂正

川手青郷

石川寅治

羽田つゆ子

油野誠一

▽削除

田村靖明、沼田竣五郎(洋)両氏は退会されておりますので削除いたします。

▽追加

〔顧問〕(産婦人科、保険医、性病予防指定医)

永井 力(医学博士)

永井 功(医学士)

### 後記

「写真による世界の建築と美術の総合展」はあまりみばえのない小形写真が多かったのですが、予想以上の盛況でことに熱心な観覧者が多く、この問題に対する世人の関心の深さを示しました。▼建築家と美術家との協力についてIAPAとUIA(国際建築家連盟)との間で一つのとりきめを結ぼうと検討が進められています。▼われわれの美術家会館の設計のうえにどの程度このアイデアが生かせるか、建築委員会は目下この問題にとりこんでいます。(和)

◎一九五九年九月十日発行

編集兼 和田 新  
発行人 和 田 新  
社団法人 日本美術家連盟  
東京都新宿区四谷一ノ八  
電話 四〇五七八  
振替東京四一、四一一

### 中央画廊

- ・最高の場所・
- ・銀座一の会場・
- ・新人を歓迎・

中央区銀座6-2(菊水二階)  
松坂屋向(銀座通)小松ストア隣  
電話 銀座(57)1480番

### 画廊ひろし

都電新橋停留所前(銀座通り)  
(新橋 玉木屋隣)  
TEL (57) 1953

### イエナ画廊

銀座大通り

所備境 場のな 高新高 最新高

中央区銀座5~4  
イエナ精光二階  
電話 (57) 2980, 3280, 7280 番